コミック版

ファイアーエムブレム

FIRE EMBLEM

蹂躙(じゅうりん)された祖国を巡って
若き王子の冒険が始まる

島田ひろかず

コミック版

ファイアーエムブレム

島田ひろかず

ファイアーエムブレム

島田ひろかず

ファイアーエムブレム

島田ひろかず

オレルアン王国
オレルアン草原
オレルアン城
辺境の国々
タリス城
ガルダの港
デビルマウンテン
アカネイア王国
アカネイア・パレス城
港町ワーレン
ノルダの奴隷市場
ディールの要塞
ペラティ城

アカネイア大陸全図

砂漠地帯
魔道の国カダイン
アリティア連邦
カシミアの橋
アリティア城
メニディ岩
グラ城
ラーマン寺院
ドルーア城
マケドニア城
ドルーア帝国
マケドニアの森

ファイアーエムブレム 用語事典

本編に出てくる単語を完全網羅。これを読めばキミもファイアーエムブレム通になれる。なお一部ゲームとは違い、オリジナルの設定となっているものもある。

ア

アカネイア王国

アカネイア七王国のひとつ。アカネイア大陸南東部に位置する。かつてアカネイア大陸を統一していたが七つに分裂。メディウス復活後はドルーア軍に攻めこまれ滅亡。

アカネイア城

アカネイア王国本城。マケドニア黒騎士団のカミュによって攻め落とされる。のち解放軍が奪還。

アカネイア大陸

ゲームおよび本編の舞台。アカネイアをはじめ七つの王国が割拠していたが、ドルーア帝国によりその三分の二が奪われる。

アリティア王国

アカネイア七王国のひとつ。アカネイア大陸北西部に位置する。英雄アンリが建国。グラ王国と併せてアリティア連邦と呼ぶ。ドルーア軍との戦いで滅亡。

アリティア宮廷騎士団

アリティア王家の近衛軍。ドルーア軍との戦いで壊滅したが、隊長ジェイガンをはじめ五人が生き残り、マルスとともにタリス島に落ち延びた。のちの解放軍の主力。

アリティア宮廷騎士団

アリティア城

アリティア王国本城。滅亡の際にドルーア軍に奪われ、竜人族のモーゼス将軍が守将として駐留。

暗黒竜メディウス

竜人族のひとつ地竜族の主でアカネイア大陸南西部にドルーア帝国を建設。大陸制覇を目指しアカネイア王国に攻撃を開始したが英雄アンリと神剣ファルシオンの前に敗れ倒される。その後百年の時を経て復活し、マケドニア・グルニア王国を併呑、ドルーア帝国を再建。再び大陸制覇にむけて動き出す。

アンリ

通称英雄アンリ。アリティア地方出身の若者で、神剣ファルシオンを手に入れメディウスを打ち倒す。のちアリティア王国初代国王。

アンリ

エ

エクスカリバー

マリクが使う風の魔法。空気の波を起こして真空状態を作り、剣のように敵を切りつける。

オ

オーム

死んだ人間を一人だけ生き返らせることができる術。ただしドルーア地方にある復活の神殿でおこなうことが条件。

オ

オーラ
リンダが父である大司教ミロアから受け継いだ光の魔法。敵を光の輪で幾重にも包み込み、増幅されたエネルギーで莫大なダメージを与える。魔法の中では最強の威力を誇るが、「マフー」に対しては無力。

オレルアン王国
アカネイア七王国のひとつ。アカネイア大陸北東部に位置する。ドルーア軍の侵攻に対し必死に防戦。

オレルアン騎士団
オレルアン王国国軍。ハーディンを隊長とする騎馬部隊。アカネイア王国のニーナ王女を守ってオレルアン国内で戦う。

オレルアン城
オレルアン王国本城。ドルーア軍によって攻め落とされ占拠される。城将マリオネス将軍。

オレルアン草原
オレルアン城の東にある草原。オレルアン騎士団・解放軍とドルーア・マケドニア軍との戦場になる。

カ

解放軍
ドルーア帝国の圧政よりアカネイア大陸を救うため、アリティア王子マルスが起こしたメディウス打倒の軍勢。

カシミア
ドルーア帝国北西部に位置する地方。この地には秘宝の眠るラーマン寺院が存在する。

カダイン
アカネイア大陸北西部に位置する地方。メディウス復活後、闇の魔王ガーネフが支配するところとなる。

キ

銀の剣
魔法のかかっていない剣の中では最大の攻撃力を誇る。熟練した剣士にしか扱うことができない。

ク

グラ王国
アカネイア七王国のひとつ。アカネイア大陸のほぼまん中に位置する。対ドルーアとの戦いでは、はじめアリティアの同盟国であったが突如として裏切ってドルーア軍に味方し、ためにアリティア王コーネリアスは敗死し、アリティア王国は滅亡する。

グルニア王国
アカネイア七王国のひとつ。アカネイア大陸西部に位置する。復活したメディウスによってドルーア帝国に併呑され、アカネイア大陸制覇の野望に荷担する。

グルニア黒騎士団
グルニア国軍の通称。名将カミュ率いる聖騎士部隊。ドルーア軍の主力として次々とアカネイア諸国を攻め落とす。

グルニア城
グルニア王国本城。解放軍との戦いでは名将カミュと黒騎士団が立て籠り城を守るが、数度にわたる猛攻の前に陥落、解放軍に奪還される。

サ

サンダー
雷の魔法。敵の頭上から稲妻を落としてダメージを与える。攻撃魔法としては初歩的なもの。

ス

スターライト・エクスプロージョン
ガーネフの使う「マフー」の魔法を打ち破ることができる唯一の魔法。小さな超新星の爆発を起こし敵を倒す。大賢者ガトーが星と光の宝珠の力をもとに作り出し、マルスたちに授ける。かなり熟練した魔道士にしか使うことができない。

タ

タリス王国

アカネイア七王国のひとつ。アカネイア大陸東部に位置する島国。通称辺境の島国。その地理的条件により唯一ドルーア軍との戦火を免れる。国を滅ぼされたマルスたちが落ち延び、二年間滞在し力を蓄え、タリス国軍とともに解放軍を起こす。

タリス城

タリス王国本城。ガルダの海賊に攻め落とされるが、マルス・アリティア宮廷騎士団の働きにより奪還。

テ

テーベ

カダイン地方の砂漠の中にある、通称幻の街。この地に行って帰ってきた者はいないと言い伝えられる。ガーネフの本拠地でマルスの姉エリスが捕らわれていた。

ト

ドラゴンキラー

竜殺しの剣。通常の武器ではあまりダメージを与えられない竜人族・ドラゴンナイトに対して特に有効。

ドラゴンナイト

竜騎兵。飛竜に乗り、天空を駆ける騎士。機動性に優れ守備力が高いが、ドラゴンキラーや弓に対しては弱い。熟練したペガサスナイトが飛竜に乗り換え、ドラゴンナイトになることもあるという。

ドラゴンナイト

ドルーア帝国

アカネイア大陸南西部の未開の地に暗黒竜メディウスが建国。大陸制覇を狙いアカネイア王国に攻撃をするが、メディウスが英雄アンリに敗れるとアカネイア軍の反攻にあって一度滅亡し、その版図はグルニア・マケドニア王国に分割される。その後百年の時を経て復活したメディウスがグルニア・マケドニア王国を併呑し再興。再びアカネイア大陸を恐怖に陥れる。

トロン

電撃の魔法。電流による槍を作り、敵の体を貫く。かなり強力だが、使える魔道士は希。

ハ

反乱軍

マルスたちのアカネイア大陸解放軍をドルーア帝国側から見て言った呼称。

ヒ

光の宝珠

伝説の三つの宝珠のうちのひとつ。星の宝珠とともに究極の魔法「スターライト・エクスプロージョン」を作り出すのに必要。大いなる力が秘められているという。

光の宝珠

フ

ファイアー・エムブレム

かつてアカネイア大陸を統一したアカネイア王家に代々伝わる覇者の証。王家のシンボルの炎と剣をあしらった紋章。これを手にする者はアカネイア大陸を統べる大義名分を得ることができる。

ファイアー
エンブレム

ファルシオン

伝説の神剣。光の魔力がこめられ強大な敵といえども恐れるに足りないという。英雄アンリがメディウスを倒すのに用いたのち、アリティア王家に代々伝わる。

ファルシオン

ヘ

ペガサス

天馬。白馬の背中に大きな翼が生えたような姿をしていて、空を平地のごとく自在に駆けることができる。ペガサスに乗った騎兵のことをペガサスナイトと呼ぶ。

再興。再びアカネイア大陸を恐怖に陥れる

ホ

星の宝珠

伝説の三つの宝珠のうちのひとつ。光の宝珠とともに究極の魔法「スターライト・エクスプロージョン」を作り出すのに必要。やはり大いなる力が秘められているという。

星の宝珠

マ

マケドニア王国

アカネイア七王国のひとつ。アカネイア大陸南西部に位置する。王子ミシェイルが父王を殺し国を奪い、復活したメディウスに臣従し、ドルーア帝国の版図となる。

マケドニア城

マケドニア王国本城。国王ミシェイルが討たれたのち、解放軍により奪還。

マケドニア白騎士団

王女ミネルバ率いるマケドニア国軍の通称。ドラゴンナイト・ペガサスナイトにより編成される飛行騎兵軍団。

マフー

闇の魔王ガーネフが使う、あらゆる種類の攻撃を全て無効する魔法。これを打ち破ることができるのは、唯一、究極の魔法「スターライト・エクスプロージョン」があるのみという。その強大な力ゆえ、大賢者ガトーのもとに封印されていたが、ガーネフによって盗み出される。ガーネフはその力を背景として大陸制覇の野望を抱くことになる。

マフー

マムクート

竜人族。ドラゴンに変身できる伝説の種族。普段は人間の格好をしているが、いざ戦いになると竜石と呼ばれる石を使って変身する。

◀変身前

▼変身後

マムクート

ミ

ミロア

伝説の三司祭のひとり。大司教。大賢者ガトーの弟子。光の魔法「オーラ」の使い手で、一人娘のリンダに奥義を授ける。ガーネフと戦い敗死。

ミロア

ラ

ラーマン寺院

ドルーア帝国カシミア地方に存在する寺院。星と光の宝珠があるが、略奪する者を襲い焼き尽くす破壊の女神がいると伝えられる。

レ

レフカンディ砦

アカネイア王国北部にある砦。マルス・ニーナら解放軍のアカネイア進撃に備えるため、ドルーア・マケドニア軍が立て籠るが敗退。

ワ

ワープ

人ひとりを望みの場所に瞬間移動させる術。ただしあまり広範囲の移動はできない。かなり貴重な秘術で使える者はそう多くはない。アリティア落城の際、エリスはこの術を使ってマルスを城外に脱出させた。

キャラクタ図鑑

ゲームに登場する全22種類のユニットを紹介。なお、※印がついているものは本編では登場しない。

ロード

主人公マルスのユニットで、プレイヤー軍の総大将。このユニットが倒されるとプレイヤーの敗北となり、ゲームオーバーになってしまう。全体的にバランスの取れた能力を持ち、成長の速度も速い。専用の武器はいずれも強力で、特殊な力も併せ持つ。

ナイト係

Dナイト ← 転職 ← パラディン ← 転職

Aナイト　Pナイト　Sナイト

剣・槍など様々な武器を使いこなし、攻守にバランスの取れた能力を持つ。軍の主力として活躍させよう。

戦士系

将軍　勇者 ← 転職

海賊　戦士　傭兵

攻撃力は優れ、直接攻撃ユニットとしては最強の部類に入る。そのかわり間接攻撃は不得意。

魔術系

転職 → 司祭 ← 転職

僧侶　魔道士

魔道士は魔法により攻撃。僧侶は攻撃はできないが体力回復など支援の役割。司祭は両方の働きをする。

弓系

(※)シューター　スナイパー ← 転職

ホースメン　ハンター　アーチャー

シューターは投石機や火炎放射機で、他は弓で間接攻撃をおこなう。ただし直接攻撃はできない。

特殊系

マムクート

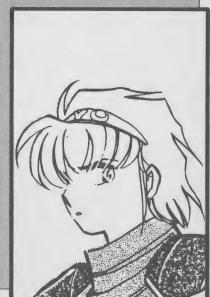
(※)コマンド　(※)盗賊

マムクートは竜に、コマンドは隣接する味方のユニットに変身。盗賊は扉や宝箱を開ける能力がある。

ファイアーエムブレム

マルス

アリティア王国の王子。英雄アンリの末裔にあたる。マルスが十四歳の時、ドルーア軍が怒濤のように侵攻し、懸命に防戦したアリティア軍だが、同盟国グラの突然の裏切りに遭い壊滅し、アリティアは滅亡してしまう。父コーネリアス王は戦死、アリティア城もドルーア軍の手に落ち、マルスの身柄も危機にさらされるが、姉エリスの助けを得て辛くも城外に脱出し、守役ジェイガンら数名とともにタリス王国に落ち延びる。

戦火の及ばないタリス島では平和な二年間を過ごすが、突如として、ドルーア帝国に協力するガルダの海賊がタリス城を占拠、タリス王も捕らえられてしまう。

恩人であるタリス王を救うため、宮廷騎士団五名とともにタリス城に急行し、見事海賊を倒して救出に成功。

この戦いを機に、アカネイア大陸の争乱を収束し、ドルーア帝国の圧政から人々を救う決意を固め、アリティア宮廷騎士団にタリス国軍を加え解放軍を編成、メディウスを倒すための長い旅に出ることとなる。

シーダ

タリス王国の王女。マルスのタリス出立の際、父王に反対されるものの、目を盗んでついてくる。タリス一のペガサス乗りとうたわれ、自在に空を駆けることができ、解放軍ではその才を生かし、主に各陣地間の連絡・偵察などで活躍する。

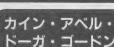
ひそかにマルスのことを慕っているが、捕らわれた姉エリスのことしか思念の内にないマルスに、やや胸中は複雑。

タリス王

タリス王国国王。シーダの父。亡命してきたマルス一行を暖かく迎え、手厚く庇護する。マルスのタリス出立の際にはオグマを隊長とするタリス国軍の兵を貸し与え、解放軍の編成に協力する。

ジェイガン

アリティア宮廷騎士団の隊長。マルスの守役でもある。四人の部下とともに、マルスを助けてタリス島に落ち延びた。

カイン・アベル・ドーガ・ゴードン

マルス・ジェイガンらとともにタリス島に落ち延びたアリティア宮廷騎士団のメンバー。力が強く「猛牛」とあだ名される騎士カイン、すばやい動きで「黒豹」と異名をとる騎士アベル、守勢に強い重装歩兵ドーガ、弓の使い手ゴードンの四人。

ニーナ

ドルーア軍によって滅ぼされたアカネイア王国の王女で王家唯一の生き残り。オレルアン王国に落ちのび、ドルーア軍に圧迫されていたがドルーア打倒と王国再建の夢を覇者の証「ファイアー・エムブレム」とともにマルスに託す。

ハーディン

オレルアン王国騎士団の隊長。わずかな部下を率いて、ニーナを守りつつオレルアンの地でドルーア軍と戦う。オレルアン一の剣の名手で、敵兵も恐れをなして容易に近づかない。

マリク

アリティアの魔道士でマルスの幼なじみ。カダインで魔法の修業をしていたが、戦が始まるとマルスのもとに馳せ参じる。風の魔法「エクスカリバー」の使い手。

モロドフ伯爵

マルスの教育係で、マルスからは「じい」と尊称される。軍師として解放軍に参画。

ガザック

ドルーア軍に協力するガルダの海賊の頭。タリスに上陸し城を占拠する。

第一章
暗黒竜の復活

大陸アカネイアの
西南から侵攻を
開始した竜人族の
帝国ドルーア

その支配者
メディウスは
恐るべき
暗黒竜であった

彼がメディウスを
打ち倒したのである

ワァ
ワァァ
アリティアの王子と王女を捜せ――！
はあはあ
姉上こっちだ！
まだ敵の兵もいない…
大丈夫ですかマルス
くそ…！
グラ王国さえ裏切らなければ父上も死なずに
僕がかたきをとってやる…！
いいえなりません…！
なぜ？
マルス！

よく聞くのです もうじき ここも落城 するでしょう
お前にもしもの事があったら誰がアリティア王国を再建するのです？
お前は生き延びねばなりません…！
し、しかし 姉上…！
エリス姉様…！
ワープ!!

姉さん……
……
どうか…
助かって
マルス…！
！
誰!?
くっくっくっ
うるわしき姉弟愛
感動いたしましたよ
エリス王女
………
お、お前は…

アリティアが燃えている…
………
どうしてこんな事に
マルス様…
復活したメディウスは次々と近隣諸国を征復し、従え続けております
そして大国アカネイアまで…
メディウスを倒す神剣の行方は？

ドルーアに対攻する力をたくわえる為
──そしてエリス様の行動を無駄にしない為にも！
……
判ったジェイガン
──今は耐えて下さい…！
……
どうか無事で…！

――あれから
2年……
平和だなあ
――でも
あの海の向こうでは
今も戦いがある…
!
シーダ!

その鎧姿はいったいどうしたんだ?
マルス様!

ドルーアの命を受けたガルダの海賊が突然、襲ってきて…
城を占領されて父もつかまって…
何だってタリス王が!?

お願いマルス様お父様を助けて…!

偵察に行った者の話ですと城のまわりは海賊でかためられこちらに向っている兵もあるとの事
有無を言わさずか

ならば判り切った事
タリス城へ向かおう!

お前達の命も今のうちだ
じきにアリティア宮廷騎士団がやってくる
ふん
戦に負けた残党に何ができる？
今頃はさしむけた兵に…
ガザック様！
どうした？
アリティアの兵を全滅でもさせたか？
——い、いえ
あの…
ヒュン!
ぎゃあああ…!!
何者だ!?

御噂のアリティア宮廷騎士団…

お前の部下はもう一人も残っていない

お、おのれ…！

ピヒュ！

——く……！

僕が相手だ！
子供が…
ナメるな!!
……
タッッ
!!
ザッ

──マルス殿
よくぞ強く
なられた…
!
シーダ!
お父様!!
無事で
良かった…
タリス王
今まで
ありがとう
ございました
!
とうとう
行かれるのか
はい
タリスにまで
戦火が及ぶ
ようでは──
ドルーアを
放っては
おけません

先々にはドルーアを憎む多くの人々がいるはず

隠れている者とらわれの身の者

やむなくドルーアに味方する者もいる

そういう人達と共に戦うのです

大陸の未来は
マルス殿
あなたの手に
かかっているのです
…………
えへへへーっ
お父様に
ないしょで
来ちゃった♡
ひょこん
わっ

第二章
覇者の証

…………
アカネイア王国も滅び、今や私一人…
世界は荒れる一方だというのに…
ニーナ王女！
！
アリティア軍がこちらへ向っているとの情報が入りました
何事ですか？
良い知らせです
こんな時に良いも何も…

マルス王子が
タリスを出発
したというのは
本当だったの
ですね

合流できれば
ようやく戦力を
たてなおす事が
できます
…

何時でも
希望は捨てる
ものでは
ありませんね
アリティア
マルス王子…

もしかしたら
我々——…
いえ世界を
救ってくれる
方かもしれない

ドルーアの息のかかった
マケドニア国軍は
オレルアン国城を
占拠していた
一方、マルス率いる
アリティア反乱軍は
ニーナ姫を救う為に
動き始めていた

このオレルアン草原
の先にオレルアン城

しかし途中
南の砦は
マケドニア騎馬隊に
占領されています

これを越えねば
北の砦におられる
アカネイアのニーナ王女
オレルアン騎士団とは
合流できません
OLERUAN
TARISU
レフカンディ砦
北の砦
オレルアン城
オレルアン草原
南の砦

では正攻法で
進むしか
ありませんな

戦力の方は?

我がアリティア軍
は着々と味方が
増えております
案ずる事は
ありません

ワァーッ!!
ワァァァッ

雑魚は
かまうな!!

わあぁぁっ

ザッ

ザン
ッ
くう……っ
……
はあはあ
きりりりりッ
マルス様あぶない!!
え?
エクスカリバー!!

コォオオォォォ
…!!
ヒュウウ…
…………
…………
マルス様
お久し振りです
マ……
マリク
なのか?
はい

アリティア軍は
南の砦を
占拠した様だな
我々も急いで
合流しよう
はい
ヒュンッ
うわあ！
！
マケドニア軍
なのか!?
隊を
崩すな！
応戦しろ！
……
この辺に
オルレアン騎士団が
いるはず……

!!
マケドニア兵の死体だわ!!
こんな所にまでマケドニア兵が入り込んでいるなんて
ま、まさか騎士団は…?
!!
きゃっ!
マケドニア兵じゃないわ…!
じゃあオレルアン騎士団?!

きゃっ！
オレルアン騎士団?!
次はどいつだ!!
我と思う者はかかってこい！
びっくぅ
ザザッッ
――ふん！
腰ぬけめ！
ハーディン殿!!
バサッ
アリティア軍のシーダです
！
アリティア軍!!

もう
すぐ近くまで
来ているはずです
こちらへ
合流するのも
時間の問題です

!
あと、これを
あずかって
きました

「銀の剣」か
丁度いい
刃がボロボロに
なり始めて
いたのだ
これでこいつらの
相手をしよう
!
あらら
に、逃げちゃい
ましたね

オレルアン城

ここのマケドニア軍はあっけないぐらいだったなあ
あら
でも油断は禁物よ
これから強い敵がどんどん出てくるわ…
……
トントン
マルス王子殿
ニーナ王女です
………
アカネイアのニーナです

マルス王子
よく来てくださいました
い…
いえ…
!
…………
この世界を守るべき我が祖国はドルーアに滅ぼされ
世の中は荒れるばかり…
ニーナ王女…
マルス殿
どうかお願いがあるのです!
私に代ってドルーア打倒の軍を進めて下さい
そして占領された国々を解放してあげて下さい!!

…………
アリティアは
昔からアカネイアに
忠誠を誓って
おります
それに…
メディウスを
倒すことは
アリティア王家に
生まれた者のさだめ
ありがとう
マルス王子
それでは
あなたにこれを
託しましょう
アカネイア王家の
代理として
世界を救う者に
与えられる
覇者のあかし
「ファイアー・
エムブレム」です
これからも
苦しい戦が待って
いるでしょう
光が貴殿と共に
あります様に…
ニーナ王女…

レフカンディ砦

何だと？
オレルアン城でマケドニア軍が大敗しただと？

──く…
アリティア軍か

ミネルバ王女よ
この責任はどうとるおつもりですかな
！
……

栄光あるマケドニア軍も形無しですな
ぷいっ

メディウスの腰巾着め…!!

ふ…ん

私がドルーアを
裏切らないかどうかを
監視しているくせに！
……
マリア…
兄、ミシェイルは
おのれの野心の為に
祖国マケドニアを
ドルーアに売った
妹のマリアさえ
人質にとらえられて
いなければ
こんな戦…！
もし私が戦わねば
マリアの命も
危ういものになる
……
ミネルバ様！
！
いつまで
こんな状態に
甘んじていなくては
ならないの
でしょうか
私達は…！
……
お前達

私達はドルーア軍の盾になって、犬死にするのでしょうか
それともアリティア軍に投降を――……
いやまて
……
妹のマリアさえ救出できれば…！
カチュア一つたのみたい事がある
！
アリティアのマルス王子…か

ミネルバ

復活したメディウスによって併呑された旧マケドニア王国の王女。祖国をメディウスに売った兄ミシェイルとそのドルーア帝国を憎んでいるが、妹マリアが人質として捕らわれの身となっているため、仕方なくドルーア軍に協力し、配下のマケドニア白騎士団を率いて前線に出て戦う。オレルアンでマケドニア国軍が解放軍に大敗すると、無意味な戦いに怒りを覚え、一計を案じてマルスのもとに使者を遣わす。

ハーマイン

メディウス配下の将軍。ドルーア帝国に不満を持つミネルバの挙動を監視する。

オグマ

タリス王がマルスに貸しあたえたタリス王国軍の隊長。勇敢な剣闘士。

マリア

旧マケドニア王国の王女。ミネルバの妹。マケドニア国軍の力を利用するため、ドルーア軍に人質として捕らわれ、旧アカネイア王国内にあるディールの要塞の地下牢に幽閉されている。

カチュア
パオラ
エスト

マケドニア白騎士団のメンバーである三人姉妹。ミネルバの腹心としてペガサスに乗り戦場を駆ける。カチュアはミネルバの命を受け、使者としてマルスのもとに赴く。

ガーネフ

伝説の三人の大司祭のひとりで闇の魔王。全ての攻撃を無効にする魔法「マフー」の使い手。その絶大なる魔力によってカダインを支配する。
　復活したメディウスと手を結び、マケドニアの王子ミシェイルを取り込んでドルーア帝国再興に荷担。アカネイアでは大司祭ミロアと戦いこれを殺し、アリティア落城の際には神剣「ファルシオン」を奪い、マルスの姉エリスを捕らえ人質とした。
　ドルーア帝国の大陸制覇が成った暁には、「マフー」と「ファルシオン」の力を背景にメディウスさえも押さえ込み、世界を我が手にしようとたくらんでいる。

リンダ

伝説の三人の大司祭のひとり大司教ミロアの一人娘。ミロアより光の魔法「オーラ」を受け継いだ魔道士。父とともに宿敵ガーネフと戦うも力及ばず敗れ、父の最後の力により辛くも危地を脱出、ガーネフの魔の手を避けアカネイア城下まで落ち延びてくる。

モーゼス

ドルーア帝国のアカネイア支配の拠点・アカネイア城を守備する、メディウス配下の将軍。竜人族で、竜に変身してマルスたちを襲う。

第三章
囚(とら)われの王女

ふあ…
夜警もつらいなァ

まあまあ
いつ敵が攻めてくるかわからないし
!
何だ?
ザザッ
翼馬!

……

ザワザワ

どうしたんだ?
いえ

昨晩つかまえた敵兵が

お願いです!

アリティアのマルス王子に会わせて下さい！
お願いします！
お前のような者が会える訳なかろう
あきらめろ！
……！
ちょっと待ってくれ
！
あ!!
何で会いたいんだい？
御本人じゃないと言えませんっ！
プイッ
ちょうどいい
僕がアリティアのマルスだ
！
シ――ン
私はマケドニア白騎士団のカチュア
マケドニア王女ミネルバ様からの使者として参りました

ミネルバ様の妹姫マリア様は現在ドルーアの人質となっています
その為、ミネルバ様は前線へ出てしかたなく戦っているのです
マルス様の話を聞きこれ以上の流血は無駄…と決断し、私を遣わしました
「マリア姫の救出をぜひ」と
罠でない証拠はあるのか?
そ、それは…
待って下さい
!
ニーナ王女
私は以前ミネルバ王女にお会いした事があります
とても、そんな卑怯な事をする人には見えませんでした

マリア姫を救出する!!
マ、マルス様
しかし…
アカネイアを取り返すのが少々遅れますがいいですよね
ええ
にこ
心配だわ
!
大丈夫だよ
僕はミネルバ王女を信じるよ
!

!
ガーネフ!!
メディウスにとり入って、この世界を手に入れようとしている悪人!
これはこれは酷い言葉だ
あなたさえいなければ
ミシエイル兄様だって…!
彼も野心がおありの様だったのでメディウスに引き合わせたまでの事
そうそう
姉姫は解放軍を相手に苦戦していると聞いたがな
!
わ、私の為に…

カチュアの言った通りだとすると…
あそこにマリア姫が
ヒュン
ヒュン!!
うっ…!!
ドスッ
タッ
エクスカリバー!!
マルス様さあ奥へ!
おや?
きゅう

こんな狭い所で「風の魔法」使ったらだなあ!
わはははは

バタッ
!

ガ…ガーネフ様
何事だ どうした?
ガクッ

マリア姫!!

アリティアのマルス…!

!
何者だ?

わしは闇の魔王ガーネフ
ふふふっ
マルス王子よ良い事を教えてやろう

お前の姉エリスも
神剣ファルシオン
も我が手中なのだ
何だって?
スッ
ふはははは
はっ!
消えた!
……
キイッ
さあどうぞ
マリア姫
マルス王子
ありがとう!!

この事を姉様に
伝えられたら
どんなに良いか…

ああ、それなら
日の出の時刻に
落ち合う約束を
したんです

バサッ
あ!

ミネルバ
姉様!

マリア!!

無事で
良かった…

マルス王子
何とお礼を
言ったらいいか…
色々な事情が
あったとはいえ
あなたに敵対して
申し訳ありません

私も仲間に加えてください！

しかし、それではあなたの兄上と戦う事に…

いいのです

私欲のために父上を暗殺し妹を人質に差し出すような男

兄とは思いません！

ミネルバ王女…

マルス王子
ガーネフと会ったそうね

ええ
……

メディウスを倒す唯一の神剣ファルシオンと
姉エリスは自分の手中にある…と

マルス率いる解放軍は
着々と軍を進め
勝利していった

タリス城
オレルアン王国
オレルアン城
カダイン
アリティア連邦
アリティア城
アカネイア王国
アカネイア城
ドルーア城
マケドニア城
ドルーア帝国

ドルーアの圧政から
人々を救い
次々と、その勢力は
増していったのである

そしてそれは
大陸随一の
広大な領地を持つ
アカネイアでも
例外ではなかった
こうして
再びあの宮殿を
見る事ができるなど
思ってもいません
でした

……

!

……
非道い
荒れ方だ

がさっ
ごそごそ

……

これ
食べる？

……

にこっ

いらない
プィッ

施しなんか
いるもんか！
他人から
ものをもらう
なんて…

こんな時
なんだから…
お互い様だよ
ぐきいるるぐうううっ

……

……
あ
ありがとう
こっちへ来ればもっと御馳走できるけど
う……
ゆー
あら、ずいぶん可愛いお客様ね
わははは
!
ニーナ様
あ、あなたもしや?

第四章
祖国アリティア

リンダ？
無事だったのですね？
お父上が亡ってから行方不明と聞いていたので心配していたのです
……

どういう事です？
マルス殿よくここへつれて来てくれました

彼女はガーネフと戦ったミロア大司祭様の一人娘なのです

お父上は残念な事をしました

──いえ…
半分は私のせいかも
私が充分父を助力できれば
父は未熟な私をかばって死んだんです

リンダ!!

マルス殿
彼女をお願いします!
彼女が父親から受け継いだ魔法「オーラ」
その強大な力の為あのガーネフも彼女をねらっています
……
お父様
私にもっと力があれば
リンダ!?
!!
もし、あの時点でガーネフをたおしていれば
世界は、こうはならなかったはずだわ
逃げる事ないだろう
放して!
そうよ
私は逃げてばかりいるんだから!

リンダ…
！
着がえ終ったようね
シャッ
……
ニーナ王女のたのみですから
……
でも私足手まといですよ
！
アリティアへはいつ？
軍備は整え終えたので
明朝発つつもりです

とうとうアリティアですか
はい

故国を去ったのが2年前
その時の思いを忘れず、ここまで来ました

!

はあい♡
!

ご苦労さん
この先隊を組んでいる敵はいなかったわ

!
ん?

な、何だあの子は~~~?

そーなんです
シーダさんっ
マルス王子ったら
ずーっとあの子に
かかりっきりでーっ
ヅ……
マリア…

ミロア大司祭の
娘か…
……

!
何を
しているの?

ああ
魔法書を
……
お勉強家
なのね

だって
かんじんな時に
役に立たなきゃ
困るだろ?

ドキ
……!

マリクさんは
何の為に
戦っているの?

うーん
そうだなあ

一つは祖国をとり戻す為
マルス様をお助けする為
そして、メディウスをたおす為
それに魔道士は数少ないし皆からたよりにされてるしで
それに応えなきゃね
……
君だって凄い魔法が使えるんだろう？
——使えないわ
失敗して死ぬのもいや

マルス様!
彼女どうだった?
うーん
何か怯えてるというか…
まあ目の前で父親が死んで
敵がうようよいる国を逃げまわっていたんだし、無理もないところですけど
お父様!

……
負けて死ぬのはこわい

あれが
アリティア城だ
2年前、最後に
ここで、あの城を
見た
ついに、ここまで
来ましたか
うん
でも戦いは
これからだ
ゆあああ‥‥
各砦も
包囲いたしましたし
残るは
本陣のみと
なりました
元々はうちの
城だし
長所も短所も
よく知っている
複雑だな

！
ドラゴンナイト!!
リンダ
何をやって…
あ!!
ま……
魔法を使って
攻撃しなければ…!
でももし
失敗したら…

マ…
マルス様!!
く……っ

敵だ!
射落とせ!

……!
ザッ

……
私のせい?

マルス様の怪我は?
!
大丈夫です
右肩に軽い火傷を負っただけですから
ほっ

しかし…
こういう時に

こういう時ってどういう時だい?
あ

敵方の将軍が城の一角に立て籠もっているとの情報が……
!

僕も今すぐそこへ行く
えーっ
そ、そんな無謀な…!!
大丈夫だよ左手で剣を持てばいいんだし
両腕剣が使えるもん

そういう問題では〜
あの……

私もマルス様と同行してもいいでしょうか

えっ君が!?

御荷物といわれても仕方ないんですが
………

いいよ
いっしょに行こう!

どういう心境の変化なんだい？
え？わ、私…

自分の為に誰かが犠牲になるのはもういやです
自分が役に立つのなら…

お役に立てるでしょうか？
そりゃあもう…！

この通路は人には知られてないんですか？

うん
このまま進めば敵のこもる塔に行くはずなんだけど
その前に迷子になりそーだな

ガタ!
こんな所に出るのか
急ごう!
何者だ!!
あそこだ!
あそこに敵将もいるに違いない!
!
竜人族!
よくもここまで来たな…
お前等だけでも餌食にしてやる!!

!!
竜の姿に変化した!?
ブレスだ!! よけろ!
よけません!
リンダ!?

オーラ!
ゾ
ガ
ギャアアア
ジュ
ア…
やった!!
!
あ…!!
………
ブスブス

ガトー

伝統の三司祭のひとり。人々は讃えて大賢者と呼ぶ。同じく三司祭に数えられる大司教ミロアと闇の魔王ガーネフの師匠にあたる。

俗世を避け、マケドニア城の外れの北の村に隠棲していたが、ガーネフがガトーの元から封印されし魔法「マフー」を盗み出し、その力をもってミロアを倒し、メディウスと手を結んで己の大陸制覇の野望を果たすために動き始めると、アカネイア大陸の将来を憂慮して、不肖の弟子ガーネフの愚行を抑え、これを倒すための勇者を探していた。

そんな中、ドルーア帝国の圧政から人々を解放するために立ち上がったマルスの存在を知り、興味を持つ。解放軍を率い次々とドルーア軍を破った手腕を見て、アカネイア大陸を救う英雄であると見込んで、アリティア城奪還の際に、リンダの体を通して接触をはかる。マルスの志を聞き、その正義感に燃える人柄を確認すると、ガーネフを倒すための唯一の方法を教えることとなる。

ミシェイル

元はマケドニア王国王子。平和な時代は将来を嘱望されていたが、メディウスが復活し大陸に争乱が始まると、ガーネフに秘めていた野心を刺激され、言葉巧みにそそのかされて父である先代の王を殺害。国を奪い国王となったのち、国を挙げてメディウスに臣従し、ドルーア帝国の大陸侵略に荷担。オレルアン王国侵攻の先陣としてマケドニア国軍を出兵させる。

剣技に優れ、目標とする敵を倒すためには自ら相手のところに出向き、確実にとどめを刺すという奇烈な性格の持ち主。

ミネルバ・マリアの兄にあたるが、悪行に愛想を尽かしたミネルバはのちに義絶し、解放軍に加わり敵対することとなる。

チキ

最強の竜人族であった神竜族ナーガの王女。竜人族同士の抗争で神竜族はメディウスを主とする地竜族に激しい戦いの末敗れ、チキが唯一の生き残りとなる。

その後、その力を利用しようとしたガーネフに捕らわれ、額環をはめられその意志を操られてしまう。

それ以来、カシミアのラーマン寺院において、光と星の宝珠を手に入れようとする侵略者たちを、その強大な力をもって焼き尽くす守護神として君臨することとなる。人々からは破壊の女神と呼ばれ、恐れて近づこうとする者はいない。

第五章
宝珠の守護者

……
リンダ？
いったいどうしたんだ？
儂の話を聞くが良い…
アリティアの王子マルス――
リンダの声じゃない！
何者だ？
儂はガトーと申す者
人は大賢者とも呼んでいる

!!

伝説の大賢者ガトー様!?

そなた達の敵ガーネフは実を言うとミロアと共に儂の弟子であった

しかし儂の元から封印されし魔法マフーを盗み出し暗黒竜メディウスと手を結びおったのだ

そして、いずれは神剣とマフーを使いメディウスさえも押さえ込み世界を我がものにと考えておるのだ

しかし…!

その様な事僕は指をくわえて見ている気にもなりません…!!

……

そなたがそう言うであろうと思い儂は話しかける気になってみたのだ

えっ?

星と光の宝珠を探すのだ

そうすればマフーを打ち破る唯一の呪文を手に入れることができるであろう…

星と…

光の宝珠…！

フッ

リンダ！

どうしたんですか？

わ私…

い今…ガトー様が君を通して…

たっ

！

はっ！
マルス様!!
万事休すか
ぎゃあああ…！
！
死ね…!!
みんな…！
御無事で何よりです
では城内はもう？
今の様な残兵はいるとは思いますが我々がほとんど奪還いたしました…！

そうか
……
マルス王子
マルス様だ!
ザワ
ザワ
…あれが!
2年も経って
御立派になられて
ザワ
ワァァァァ
……

どこにあるんだ
よ――っ
心当たりが
ないわけでは
ないんですが…
えっ
どこだって？
カシミアの近くの
ラーマン寺院です
あそこには
昔から大いなる宝が
眠ると伝えられて
います
しかも…
略奪者を襲う
恐ろしい女神が
いるとも聞いて
いますが…
何にせよ
行かねば
なるまい
そのラーマン
寺院へ…！

ふう
ドルーアに動きを知られない様にと少人数で来たが…
簡単に入れてくれそうにもないな！
見ろ！ドルーア兵だ！
と、いう事は…
やはり何かがあると見ていいでしょうね
助けて…！
私を救って…!!

この宝珠に
近づく者のすべてを
お前のその力で
焼き尽くすのだ!!

お…
女の子?

あれが恐ろしい
女神なのか?

気をつけろ!
用心するんだ!

ヴウ…ン
ウ…
私ニ近ヅカ
ナイデ……

マ…
竜人族…!!
ザッ
く…
ドラゴンキラーを!
……
サンダー!!
バキッッ
バチバチッ
今だ!!
パキ…
…!!

どういう事だ？
あ！
ス
ガトー様!?
この者を殺してはならぬ
彼女もまたガーネフの犠牲者なのだ
スッッ
ウウ…
タ…助ケテ…
フラッ
し、しかし
いったいどうすれば…
!!

あれだ
あの額の石を壊すんだ!!
キィィィン
カッ
うわあ!
──くっ…
彼女にダメージを与えない様に狙いを外すな!
だ、大丈夫か
は、はい
しかしこれでは弓が…

僕に貸してくれ！
額の石…
どうか上手く
上手く当たってくれ！
カッ
パリッ
パアアアッ

…………
……

やった！
成功だ！

ガクッ

き、君
しっかり

…あっ
わ、私は…

君はガーネフに
あやつられて
いたんだよ
もう
大丈夫だ

……
そうだったん
ですか

ありがとう
まるで長い間
悪い夢を見ていた
みたいです…

そうすれば
そなたに
授ける事が
できよう

ガーネフを倒す
最大級の呪文
スターライト・
エクスプロージョンを…!

第六章
兄妹の悲哀

ガーネフを倒す為に必要な
2つの宝珠を手に入れた
マルス一行は
大賢者ガトーの元へと
向かっていた

しかし

それは同時に
ドルーアの同盟国
マケドニアへの
旅でもあった

マケドニアか…

ミネルバ王女や
マリア王女にとって
母国だし

この旅に同行
させるのは酷だと
思うんだが

！

それは
そうですね

では一行から
外すという
事に…

ミネルバ様が
マケドニアに
行けないですって？

それではミネルバ様の御気持ちが…！
ダッ
マルス殿!!
や、やあミネルバ王女ちょうど良かった話が――……
話？
私達をマケドニア行きから外すという話か？
マルス殿…
貴方は御自分で父上の仇を取られた
私にもその機会を与えて欲しい
この気持ちを察してはくれないか？

し、しかし
マケドニアを支配しているミシェイルはあなたの…
父の仇です!!
奴は…
みずからの手でおのれの父親に止めを刺した男
自分で確実に行動する様な男です
マケドニア内ではマルス殿もお気をつけ下さい
ミシェイルは誰かを殺すとなれば自分で出向きます
………
私もマケドニアへ行きます
うーん けっきょく行くことになってしまった
ザァァ

平和だった昔
父上も御健在で
こんな日が永遠に
続くと思っていた
姉様！
マリア
マケドニアに
向うのですってね
何年振り
かしら
ええ
でも
昔とは
違うから
──ミシェイル兄様は
まだ愚かな事を
しているのですね
………

兄の罪は私がこの手で摘まなければ…！
ミネルバ姉様……
父殺しだけではない
多くの者を死に致らしめた罪
その罪は
マケドニア
情報によるとガトー様はマケドニア城の北の村とか
内密に行けるものならそうしたいが…
マケドニア軍は我々の事を察知しすでに動き出しているとか

うげーっ
やっぱり一戦交える事になるのか
………
あの……
!
マルス様に急いで伝えなければならない事があるのですが…
どちらに?
ああ
あの一番大きな天幕だ
どうもありがとう
う
うん…

あんな奴
いたかな？

ザワ
ザワ

！
え？

？
誰だ？

初めて
お目にかかる
君が
マルス王子か？

!?

マルス殿!!
ミシェイル!!
!!
何だって!?
ミネルバか
久し振りだな
……
マルス殿は
殺させは
しない…!
実の兄に
かなうものか!!
兄なものか!!
!!

くっ
……………
!!
ミネルバ姉様(ねえさま)!!
ガッ
マ…
マリア!!
お姉様(ねえさま)!!
は…
早(はや)く!!
きゃあっ!!
!!
マリア姫(ひめ)!!
………

ミシェイル……!!
!?
ザッ

………

マルス殿

敵も総大将が
いないとなれば
がたがたのはず
一刻も
早く
ガトー様の
元へ向って
下さい…！

──あ…
ああ

兄様
何を読んでらっしゃるの?
私もいずれは父の後を継いでこの国を治めねばならない
その為には多くの事を学ばねば――……
兄をそそのかしたガーネフ…そしてメディウス…!!
許すものか!!
よく御無事でこの星と光の宝珠を持って参られた
これがあれば
究極の魔導書「スターライト」を手に入れる事ができる

カッ

ゴロン

さあこれが「スターライト」だ 誰がこの呪文を使うかね

あ

リンダ 君が使ってくれ

は、はい！

マルス殿が2つの宝珠を手に入れたと知って
ガーネフは今テーベに逃げ込んだ所だ
そなたの姉エリスもいっしょの様だな
姉上が!?
しかし…
テーベといったら
別名幻の街と言われ
その所在すら定かでなく
しかも
テーベに向って生きて帰った者はいないと伝えられている所…
さよう
たしかにテーベはそう伝えられる所だ
テーベの場所を教えるのは簡単だが
生きて帰ってこれるかはお前達の力量次第だ

はい
ガーネフを倒し神剣ファルシオンを手に入れる為にも
そして姉上を助け出す為にも！
儂は一足先にドルーアへ向っていよう
無事テーベから戻ってくればいずれ会うであろう
！
では我々とメディウスを？
ああ
これ以上犠牲者を見るのは忍びないのでな
テーベ
辺境の砂漠の中にある幻の神殿
待っていろガーネフ!!

暗黒竜
メディウス

◁変身前　▷変身後

竜神族である地竜族の一人、アカネイア大陸南西部の未開の地にドルーア帝国を建設、皇帝となる。アカネイア大陸制覇の野望を抱き、当時大陸を統一していたアカネイア王国に侵略を開始する。その絶大な力でアカネイア軍に壊滅的な打撃を与え、今まさに世界を手に入れようとした時、神剣「ファルシオン」を手にしたアリティア地方の若者アンリに倒され、ドルーア帝国は滅亡した。

それから百年経ったある嵐の夜、まるで長い眠りから覚めたかのごとく突如として復活。マケドニア・グルニア王国を併呑しドルーア帝国を再興。闇の魔王ガーネフと手を結び、再び大陸制覇を目指して侵略を開始。アカネイア・アリティア王国を滅ぼし、グラ王国を傘下に加え、アカネイア七王国のうち五つまでを手中にし、アカネイア大陸を恐怖に陥れる。

しかし、マルス率いる解放軍の蜂起後は、ドルーア軍は敗退を重ね、次々と占領地を奪還される。業を煮やしたメディウスは本拠地ドルーア城で最後の決戦を試みる……。

エリス

滅亡したアリティア王国の王女。マルスの姉。
ドルーア軍に攻められて、アリティア落城の際、「ワープ」の術でマルスを逃がす。しかし、自身はガーネフのために捕らえられ、ガーネフの本拠地・テーベの神殿に幽閉される。ガーネフはエリスの魔力を利用しようとしたが、強固な意志で決して協力することはなかった。
死んだ人間を一人だけ生き返らせることができる「オーム」の術を持っている。

カミュ

復活したメディウスによってドルーア帝国に併呑された旧グルニア王国の将軍。グルニア黒騎士団を率いる。メディウスとドルーア帝国に対しては快く思ってはいないが、祖国グルニアに忠誠を尽くすため、常に先陣となって戦う。
軍略の天才でアカネイア・アリティア王国軍を次々と破り、ともに滅亡に追い込む。名将と讃えられ、その才覚は解放軍からも一目置かれている。
ニーナとは旧知の仲。

第七章
再会、そして…

ほほほほ

ガーネフ!! 往生際が悪いわ

あなたはもう崖の縁

退く一歩も後はないのよ

黙れ!!

神剣とマフーの魔法

これさえあれば何も恐れるものなどない…!

マルスなどお前の目の前で殺してくれるわ!!

あのタリス島を
出発したのは
どのくらい前
なんだろう
…………
お父様は
元気だろうか
出発した時には
あんなに小さかった
軍隊もこんなに
大きくなってしまった
忙しそうな
マルス様の周りは
偉い人達ばかりで
私なんか近寄れも
しないわ
最近何か
話したかしら？
！
それはどこへ
持って行くの
マルス様の
天幕ですけど

ぱっ
え？
あのーっ
心配しないで私が持って行くから！
マルス様！
バッ
ッ
ぐう

大そうな
荷の重さよね

!
あれ
シーダ
み、水さし
持って来たんだけど
寝てたから…
お、起こし
ちゃったかしら
大丈夫
時間のあるうちに
仮眠してようと
思ったんだよ
もうじき
テーベだからね
体力温存
しとかなきゃね
テーベかぁ
もうそんな所まで
来ちゃったのね
これでガーネフを
やっつけちゃったら
次はドルーアでしょ?
テーベ
カダイン
アリティア連邦
アリティア城
ドルーア城
マケドニア城

タリス島から
ずい分遠くへ
来ちゃったのね
おやおや？
シーダはホームシックな訳——！
そーんなんじゃないもーん
早くガーネフをやっつけて大好きなお姉様を取り戻そうねっ
シ…シーダ!!
私も前線で戦うからね♡
がんばろうね！
——たく…
だって
タリス島にいた二年間、お姉様の話ばっかだったもんね
姉上は——
僕を逃がす為に行方不明になってしまったんだ。

姉上はきっと生きている
僕は何としても捜し出してみせる…!!
………
ヒュウウ…
──あれが
テーベの神殿…
ガーネフを守る魔道士が数多くいるという話だ

まわりは
砂漠
ガーネフも もう
こちらを察知
していると思う

しかし神殿という
造りは防戦には
向いていない

やあああああっ

わあああああ

おおおおっ

わあっ

!!
ガーネフか!?

とうとう
ここまで来たか…
しかし
儂を倒せる
かな？
ヴヴヴゥオオオ
!!
ガーネフの姿が
何重にも…！
スッ
危い!!
カッ
きゃあ！

トロン！
ビリビリ
ふはははは！
バキバキバキ
動くものか!!
バキーン！
ガラララッ
!!
しまった!!
!?
ガーネフは
どうしたんだ？―
フッ
スッ
パラパラ
フワッ

エリス姉上!!

ぐいっ
マ…
マルス…!?
きゃあ!!

さあ!
スターライトを
使うがいいさ!
こいつを
道づれにしてやる!!

………
どこまでも
卑怯な奴…!

マルス様…
——このまま
スターライトを使えば
ガーネフは姉上様を…

マルス!!
はっ
私の為に攻撃をためらってはいけません!!
そんな事をされても私は嬉しくはありません!!
アリティア城から僕を逃がした時のように…
―姉上…
マルス様…
スターライトを使ってくれ
し、しかし
あの人は…
言い出したら聞かないんだ

——判りました
……
儂が倒したミロアの子供か
そんな子供に大魔法が使えるものか!!
返り討ちにしてくれるわ!!
マフー!!
カッ
お父様!!私に力を…!!

くっ……っ
これが…
スターライト!?
!!
ガッ
ああっ
ふふふ
じっ
——望み通り
こいつを殺して——!
!!

いけない…!!
エリス様!!
アアアオオン

ふふふ
フラッ
道づれには違いない…
!!
―ぐ…っ
ザリッ
ビュッ
シュウ…
……
シーダ!!

第八章
ファルシオン
神剣よ永遠に

…………
シーダ
神剣も手に入った
姉上も無事救出した
しかし…
自分の身を盾にして命を落としてしまうなんて
!
マルスー!

これを…
神剣をあなたに――…
……
彼女の命と引きかえの剣
マルス！
私もドルーアへつれて行って
何故？
敵の領土へ行くのに危険だ！
いいえ
聞くのよ
私がどうしてガーネフに幽閉されていたか
私の魔法を利用したかったからだし
敵に使われて欲しくなかったならなのです
最後の戦は厳しいものだと判っていますが…
勝利を収めさえすれば

私の為に亡くなった
彼女を運命は
見捨てはしないはず

奇跡を
起こす事だって
できるでしょう

！

——あれが
ガーネフの馬鹿者が
討ち損じた反乱軍
だというのか
もっとも連中は
自分達の事を
解放軍と言っている
らしいがな
メディウス様
いかがいたしま
しょうか？
…………
そうだな
城内に入れても
構わん
！
え？
わざわざの
御来客だ
趣向を凝らして
迎えようでは
ないかね？

わああああ
ズズ…ン
城門を突破しました!!
よし、このまま敵を追い込むんだ
ワァ
メディウスを捜せ!
?
何だこれは?
いったい…
パアアアア…
!?

うわあっ…!!
ス…
!!
――こ…
ここはどこだ?!
ヒォォォ

エリス姫、
行くぞ！
あ、はい！
何だろう
マルスに何か？
オームの秘技を使うにはあの神殿が必要なのだ
まだ敵が？
儂がこいつらを追い払う！
ガッ
ダッ
ぎゃあああああっ
！
バタッ
ああ
ここだわ…

これで…
あの
シーダ姫も…!
……
くくくっ
何者だ!?
ファルシオン…
百年の間
復讐の機会を
待っていたぞ!!
カッ
!

アアア
カァッッッ
わあ!!
……………
くそ…!

メディウス！
お望(のぞ)みの
ファルシオンだ!!

な
何をする!?
メディウス様
早く止めを!!
ーーこ…
ここで
死ぬ訳には
いかない…!!

奴を封じ込める手だては…!?
亡きシーダ姫の魂よ…!
還りて再び躯に収まりなさい!!
…拒絶?
何故!?
エリス姫
話をしてみるんだ
どうしたのです?
シーダ姫
——…マルス様が…

メディウスと
戦っているのです
どうすれば
メディウスを
封印できるのか…
マルスが!?
メディウスの額を
神剣で刺すのだ!!
百年前の英雄も
そうやった!!
……
――マルス…
誰だ!?
額を…
額を狙って…!

シーダ?!
……
──額なのだな
キエエエイ
ヴンッ!
ダッ
今だ!!
ドドドッ

ギャアアアアア
——うう…
いつかまた必ず……!!
……

これで終わった…！

英雄の血を引く
一王子から始まった
解放軍の勝利により

大陸は
久しく失っていた
平和を今一度
取り戻し

そして…

◆コミック・ファイアーエンブレム（島田ひろかず）初出誌

第１話・ファミリーコンピュータMagazine1991年18号（1991年９月20日号）
第２話・ファミリーコンピュータMagazine1991年20号（1991年10月18日号）
第３話・ファミリーコンピュータMagazine1991年22号（1991年11月15日号）
第４話・ファミリーコンピュータMagazine1991年24号（1991年12月13日号）
第５話・ファミリーコンピュータMagazine1992年１・２合併号
（1992年１月10日号／１月24日号）
第６話・ファミリーコンピュータMagazine1992年３号（1992年２月７日号）
第７話・ファミリーコンピュータMagazine1992年５号（1992年３月６日号）
第８話・ファミリーコンピュータMagazine1992年７号（1992年４月３日号）

第九章
グルニア城異聞

…………
眠れない
グルニアの国境…
あの方がいる……
あの方の故国

すぐ近くまで
来ているのに
とても遠く感じる
──黒騎士団など
恐れるに及ばぬ
現に我々は
カシミアの戦いで
黒騎士団の
一個中隊を
破ったではないか
では明朝から
交戦という事で
──……
御待ちなさい!!
避けられる
争いならば
それに越した
事はありません
現に私達は
そうやって同盟軍を
大きくして
いきました
それは然り
では
カミュ将軍を?
しかし……!
彼奴は戦における
才覚をドルーアの
手先として悪用し
次々と国を攻め落とした
張本人ではないか!
事実 ニーナ様の
アカネイア王国も
そのカミュに──
ドッ

いえ　だからこそ！
味方とすれば大きな力となるのでは？
とにかく一度は話し合いの余地を
失礼します！
…………
あんな強気なニーナ姫は初めて見た
ああ
…………
？
どうしたんですか？ハーディン殿
ニーナ姫とカミュ将軍は個人的に知り合いなのでは？

アカネイア王国が
占領された時に
駐留していたのが
確か黒騎士団
その時に
会っていたとしても
不思議ではありませんね
なるほど
カミュ……
……
カミュ将軍は
グルニアの北の
居留地にいるとの
情報です
密書送りましょうか
よし
僕が護衛を
連れて出向こう
マルス王子!
!
どうしたんです?
ニーナ姫
はあ
カミュ将軍に
会いに行くのですね?

私も連れて行って下さい!!
ニ ニーナ姫〜
お願い……!
これ以上は何も望まないわ!
う…………
そーっ
あら マルス様 どこ行くの?
どっきーっ
しーっ しーーっ
?
内緒にしてくれ!
ニーナ様を連れて行く訳にはいかないんだ!!

！

…………アリティアのマルス殿か

──私も
グルニア騎士団の
末輩…
スッ
ここは潔く
剣を合わせよう
ではないか
私は君にとって
アリティアを征服した
敵のはずだ
!!
カ…
カミュ…!
止めてくれ!!
ガッ
カァン
もう
遅すぎる…!
カミュ様!!
!
ニーナ姫!?

止めて下さい!!

貴方とマルス王子が戦うなんて私には耐えられません…！

ニーナ姫……

こうして再び会えるとは…

私は神に感謝しなくては

ニーナ姫につかまっちゃったの

ゴメンね。

……。

お願いです
どうか私達の同盟軍に来て下さい!!

ニーナ姫……
私には国と仲間を裏切ることは出来ない…

たとえ どんな国でも私には故国であるから……!

!

カミュ様…

同盟国の為…
——いいえ違う!!
——私の……

私の為に…!!

——敵にしておくには惜しい人物ですね
ニーナ様があの方を好いてる理由も判りますわ
!
マルス様の元へ連れて行けと迫ったあの迫力
私 忘れられませんわ!
……………
二年前

アカネイアは
占領され
私は囚われの身
王家の血を根絶やしに
する為に殺される
寸前でした
そんな私を
庇って下さったのが
あのカミュ様
国を両親を
殺した憎い敵
しかし
それを怒った
メディウスは
刺客をさしむけ
彼は私の安全の為
オルレアンへと
逃がしたのです
しかし
誰が彼を
責められよう
彼もまた故国を
愛していたのだから
………

このまま時が止まってしまえばいい
わぁぁあ!
わぁぁ
!
何事ですか?
グルニア城が陥落いたしました!!
たった今しがた連絡が…!
そう
……
それは何よりです

グルニアの城に
炎と剣の旗が舞う
こんな戦がなければ
貴方と会う事もなかった
戦う事もなかった!!
そして
メディウスが倒れ
数年が過ぎ
え?

他国でカミュ将軍そっくりの人物を？
まさか？
記録に残す必要はありません
削除しなさい
はあ…
誰も思い出さない方が幸せなのだ
…………
でも……
戦の混乱に乗じて生き延びていたと信じたい
私の恩人
そして決して結ばれる事のなかった運命の人

『グルニア城異聞』…コミックマスターEX(エクストラ)Vol.1('92年6月18日発行)掲載分より収録

あとがき

『これもすべてはリンダちゃんへの愛』

島田ひろかず

このファイアーエムブレムのマンガを描いたのは、ちょうど一年前の事になります。
　今から思うと、私の仕事が一番大変だった時期のもので、この単行本の入稿前にもう一度、原稿の方を見直してみたのでありますが、力至らず何ともお恥ずかしい作品で申し訳ありませんです。
　とはいうものの、これを描いていた時は、本当に真面目に取り組んでおりました。何よりも私自身が、このファイアーエムブレムのファンでありますから、マンガを描かせて頂きます！　みたいな、恐れ多い心境でした。
　ゲームの世界観を損なってはいけないなと気を使ったりとか、せめてファイアーエムブレムのファンから石を投げられない内容にしようとか、いま考えると苦労が絶えなかった様な気もしますが、実はとても楽しかったです。自分以外のキャラクターをお話しの中で動かすというのも、なかなかある経験ではございませんし、それも大好きなゲームと来ては、燃えるじゃありませんか。
　ただ、私はへそまがりなもんだから、女のくせに（ペンネームは男名前だけど）女性キャラが大好きで、なおかつ、ファイアーエムブレムには『おいしい女性キャラ』がいっぱいで、だからマンガを読んで頂くと判ります様に、妙に女性キャラが活躍していて、男性キャラ・ファンの方は「何で、〇〇〇の出番ないのよ！」なんて、怒っちゃうかもしれない。でも、考えてごらんよ。プレイヤーひとり一人が、それぞれで育てた大事なコマンド（キャラ）なんだから、島田なんかの絵で描かれて餌食になるよりもいいではないか（自虐的だなあ）。
　プレイしてても、描いていても、最大ぇこひいきはリンダちゃんである（笑）。
　女性ファンには人気のないカミュ様も、ミシェイルも大好きである。
　特にミシェイルというキャラクターはゲーム上では単なるボスキャラなのですが、ストーリーを考えるに当たって、バックボーンを過っていくと、実に創作意欲をそそるキャラだということに気がつきまして、楽しませて頂きました。で、あの様なものになってしまった次第でございます。
　もう一度、ゲームをプレイする機会があったら、彼に対する見方が変わるかもしれませんね（でもやっぱり、悪役は悪役だろうか？）。思い出といえば、この回はお手伝い五人なんて時だったわね。ひたすら眠かったことを覚えております。毎回、ヒドい製作状況だったなあ（黒井さん、ごめんなさい！）。唯一、救いだったのは作品中、山の様に出てくるお城の資料には、我ながら不自由しなかったことでしょう。自分の趣味に大感謝です。
　最後に、この仕事のコトの始まりはといいますと、当時、お仕事をしていた徳間書店インターメディアのファミマガの黒井さんに「ファイアーエムブレムにハマってます！」と、年賀状に書いたのがそもそものキッカケだったと記憶しています（確か）。いろいろ得るものが多く、勉強の機会を与えてくださったファミマガには、感謝しています。
　あかつき氏、遠藤さん、栗原さん、臨時単発のみなさんがアシスタントをしてくれなかったら、この作品は出来ませんでした。どうも、ありがとうです。
　ファミマガ連載終了直後に再び描く機会をくださった、ホビージャパンの金子氏にも感謝の言葉を（また、テーブル・トークPRGしましょうね！）。
　そして、この本を発行する機会を作ってくださったJICC出版局の井上氏、浅野氏に。読んでくださった皆さんに。
「本当にありがとう！」
（石ぶつけないでね！）

宝島コミックス

ファイアーエムブレム

発　行　1993年４月20日初版
著　者　島田ひろかず
発行人　蓮見清一
発行所　JICC出版局
〒102　東京都千代田区麹町5-5-5
電話　営業部03(3234)4621
編集部03(3239)0237
振替　東京7-170829㈱ジック
印　刷　日本プリンテクス㈱

落丁・乱丁本はお取替えします。　ISBN4-7966-0604-1　Printed in Japan

華麗なる冒険の旅が、今、始まる！

HIPPON SUPER！編集部が贈るファンタジーコミック!!

コミック版
ウィザードリィ 全3巻

石垣環・著
第1巻・定価906円/第2巻・定価906円/第3巻定価900円

少年戦士リョウは、コンラッドの遺言に従ってトレボー領へと旅立つ。ワードナから魔除けを奪い返すために。ウィズコミックの原点がここに！

コミック版・ウィザードリィ外伝・第1部
ギルの迷宮

石垣環・著
定価900円

ショウとルーシィディティの宿命の戦いが始まろうとした瞬間、2人の体は奇妙な迷宮へと転移させられた。魔導師ギルを倒すために！

コミック版・ウィザードリィ外伝・第2部
鳳凰の塔 全2巻

石垣環・著
前編・定価900円/後編・定価980円

炎を裂き、風を斬り、氷雪を砕くといわれる魔剣「クサナギ」。その剣が眠る禁断の聖地「鳳凰の塔」に潜入したショウの前に!? 外伝第2部ここに成る。

コミック版・ウィザードリィ外伝・第3部
復讐鬼の城 全3巻

石垣環・著
定価980円

全国のウィズファンを熱狂させたコミック版ウィズ外伝ついにこのシリーズをもって完結！ 異形の者が巣喰うその城は、復讐の匂いに満ちていた。

コミック版
ゼルダの伝説

未将崎雄・著
定価900円

魔を封じているトライフォースを守るべく旅立ったリンクと、魔族最強の王ガノンとの壮絶な闘いが始まる！ 新しい冒険活劇の登場!!

コミック版
リンクの冒険

未将崎雄・著
定価980円

あれから3年…。伝説は終わり、今、新しい冒険が始まる！ 炸裂する剣と魔法!! リンクと魔族との新たなる闘いが始まる。シリーズ第2弾の登場。

コミック版
ギア・アンティーク①②

伏見健二・原作/外薗昌也・著
定価各980円

テーブルトークRPGの超話題作を外薗昌也が完全コミック化！ いま、鉄と蒸気と魔力の時代が始まる。幸運の風は吹くか？

コミック版
ファイナルファンタジー

海明寺裕・著
定価900円

世界は暗黒に包まれていた。醜悪なモンスターが人びとを襲う。永遠の命を手に入れたカオスを倒すため、伝説の光の戦士たちが、今、旅立つ。

JICCジック 〒102 東京都千代田区麹町5-5-5 書店にない場合は、窓口販売及び通信販売も行っております。詳細のお問い合わせは☎03-3221-1994まで。

定価800円(本体777円)
ISBN4-7966-0604-1 C0079 P800E

華麗なる冒険の旅が始まる!! コミック版ウィザードリィ
全9巻 絶賛発売中!! 定価906円(1・2巻)
定価900円(3巻)
外伝第一部「ギルの迷宮」第二部「鳳凰の塔」発売中
第三部「復讐鬼の城」(前・中・完結編)発売中!!

ISBN4-7966-0604-1 C0079 P800E 定価800円(本体777円)